

令和 3 年 1 定市議会における補正予算の概要について

○軌道整備事業会計

1 収益的収入及び支出の補正

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う軌道運送事業者の乗車料収入の減収が著しいことから、札幌市軌道整備事業使用料条例に基づき、施設使用料の減免を見込み、施設使用料収入の減額を行います。【詳細は資料 1 - 2】

また、不用が見込まれる委託料や一時借入金利息などの経費の減額も行います。

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後
軌道整備事業収益	1,621,000	▲ 361,000	1,260,000
営業収益（施設使用料）	899,000	▲ 361,000	538,000
軌道整備事業費用	1,631,000	▲ 40,000	1,591,000
営業費用（委託料 他）	1,534,000	▲ 25,000	1,509,000
営業外費用（一時借入金利息 他）	92,000	▲ 15,000	77,000
収入支出差引額	▲ 10,000	▲ 321,000	▲ 331,000

2 資本的収入及び支出の補正

令和 3 年度当初予算に計上予定であった路面電車活用推進事業について、今年度、国の補助金を活用できる見通しとなったことから、その財源を確保するため補正予算へ計上します。

事業内容は、①西 7 丁目通（第 3 工区）軌道改良工事、②東本願寺停留場改修工事、③西 7 丁目通（第 4 工区）材料購入・軌きょう組立、④西 7 丁目通（第 3 工区）電車線工事、⑤低床車両導入で、事業費は 605,000 千円となります。【詳細は資料 1 - 3】

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後
資本的収入	2,005,000	605,000	2,610,000
負担金	1,660,000	605,000	2,265,000
資本的支出	2,094,000	605,000	2,699,000
建設改良費	1,917,000	605,000	2,522,000

なお、この補正予算により、年度末内部留保資金は 1,441 千円となることを見込んでおり、資金不足は発生しない見込みです。【別紙資料 1 - 4 参照】

【参考】軌道運送事業の輸送人員

令和 2 年度の見込みは以下のとおりとなっており、予算で見込んだよりも大幅に減少する見込みです。

	予算	決算見込	増減
年間輸送人員	9,037 千人	5,938 千人	▲ 3,099 千人
1 日平均輸送人員	24,759 人	16,270 人	▲ 8,489 人

○高速電車事業会計

1 業務量の補正

新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送人員の予定量について、当初予算と決算見込との乖離が一定程度見込まれることから、人数を補正します。

	補正前	補正人数	補正後
年間輸送人員	235,128 千人	▲ 76,188 千人	158,940 千人
1日平均輸送人員	644,000 人	▲ 209,000 人	435,000 人

2 収益的収入及び支出の補正

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた乗車料収入の減額のほか、課税売上（乗車料収入）の減少に伴う、消費税納税額の減額を行います。

なお、収入支出差引不足額に充てるため、特別減収対策企業債 2,400,000 千円を借り入れします。

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後
高速電車事業収益	52,901,000	▲ 13,539,000	39,362,000
営業収益（乗車料）	46,631,000	▲ 13,539,000	33,092,000
高速電車事業費用	42,891,000	▲ 1,129,000	41,762,000
営業外費用（消費税）	5,373,000	▲ 1,129,000	4,244,000
収入支出差引額	10,010,000	▲ 12,410,000	▲ 2,400,000

3 資本的収入の補正

資本的支出の財源が不足するため、特別減収対策企業債を借り入れします。

(単位：千円)

	補正前	補正額	補正後
資本的収入	17,830,035	7,827,000	25,657,035
企業債	11,727,000	7,827,000	19,554,000
収入支出差引額	▲ 21,675,210	7,827,000	▲ 13,848,210

特別減収対策企業債の借入は収益的収支不足分と合わせ 10,227,000 千円となります。

この資金手当てにより、令和2年度末の内部留保資金は0円となることを見込んでおり、資金不足は発生しない見込みです。【別紙資料1－5参照】

4 債務負担行為の補正

東豊線さっぽろ駅空調換気給排水設備改良工事については、工期を令和2年5月から令和3年8月までと予定していましたが、労務費の高騰によって入札不調となり、工期を令和3年3月から令和4年10月までに見直したことに伴い、当該工事について、新たに債務負担行為の期間及び限度額を設定します。

事 項 東豊線さっぽろ駅空調換気給排水設備改良工事

事業概要 東豊線さっぽろ駅の空調換気設備、給水管、排水ポンプ等の更新、防災集中監視装置及び設備指令システムの改修

期 間 令和3年度から令和4年度まで

限 度 額 675,000 千円